

施工説明書

Table with columns for Handwashing Unit Type, Corner Type, and Counter Type. It lists standard and front-exit models and their corresponding body and counter codes (e.g., CH110TSK, CH110TJJK, etc.).

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 ■便器を取り付ける前に手洗ユニットを先に取り付けてください。
■アラウーノを設置する場合は、本書と便器の施工説明書のほか、アラウーノ専用手洗ユニット カウンタータイプ、コーナータイプ用配管に同梱の施工説明書をご覧ください。

施工手順表



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告

- 警告: 分解・改造・説明書記載以外の修理は絶対に行わない。浴室など湿気が多い場所、水洗い掃除ができる床に設置しない。給水パイプに強い力を加えない。屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には施工しない。

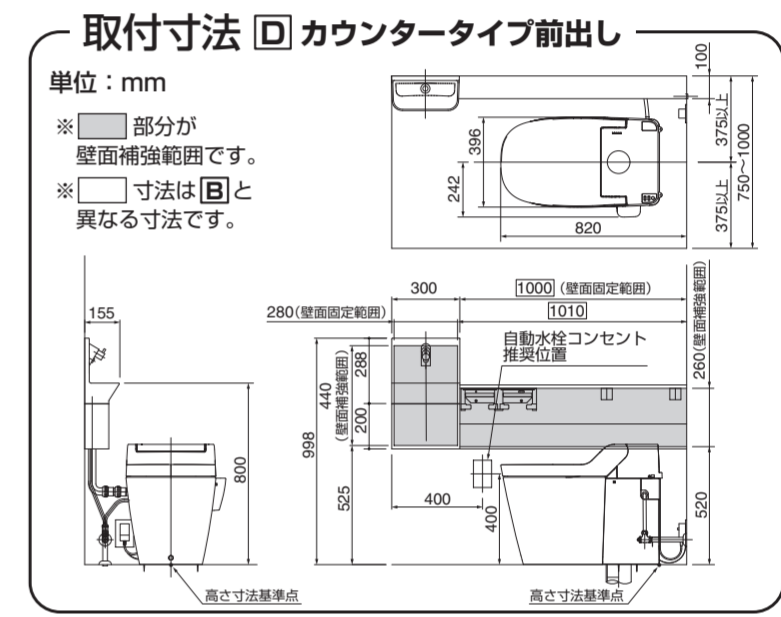
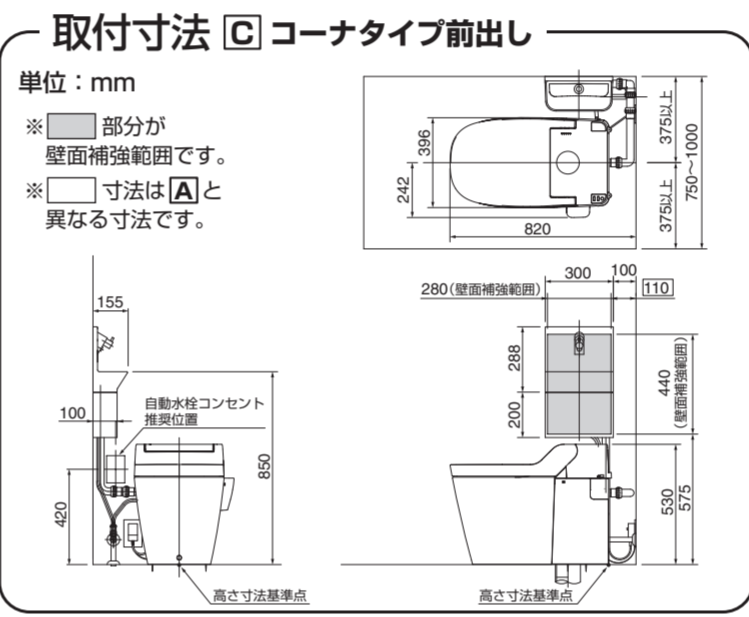
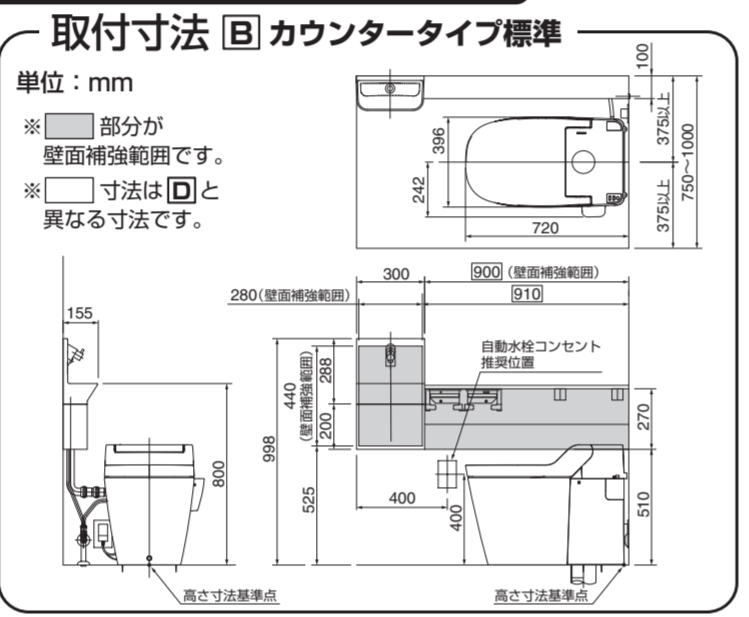
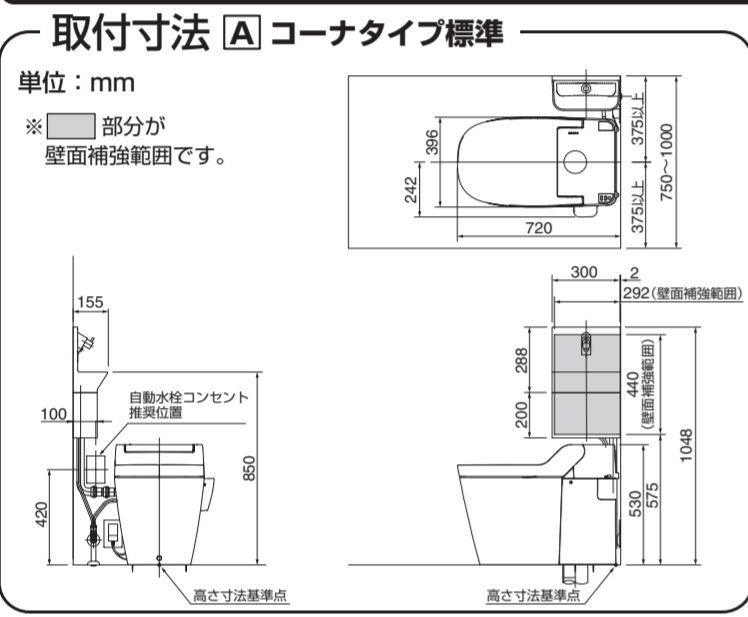
注意

- 注意: 手洗いボウルにがたつきがないことを確認する。施工終了後、給排水管から水漏れのないことを確認する。凍結のおそれがある地域では、水抜きなど凍結防止措置を行う。

取り付け前に

- 取り付け前に: 1. 給水工事は専門業者(指定給水工事業業者)が施工するようお願いします。 2. 使用水道圧範囲は0.098(動水圧)~0.735(静水圧) MPaです。 3. 配線工事は必ず電気工事に依頼してください。 4. 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。

※施工タイプによって4つのタイプ(施工タイプ記号 A、B、C、D)に分類されます。該当の施工タイプ記号をご確認の上、施工してください。



各部のなまえと部品確認 (A B C D は施工タイプ記号)

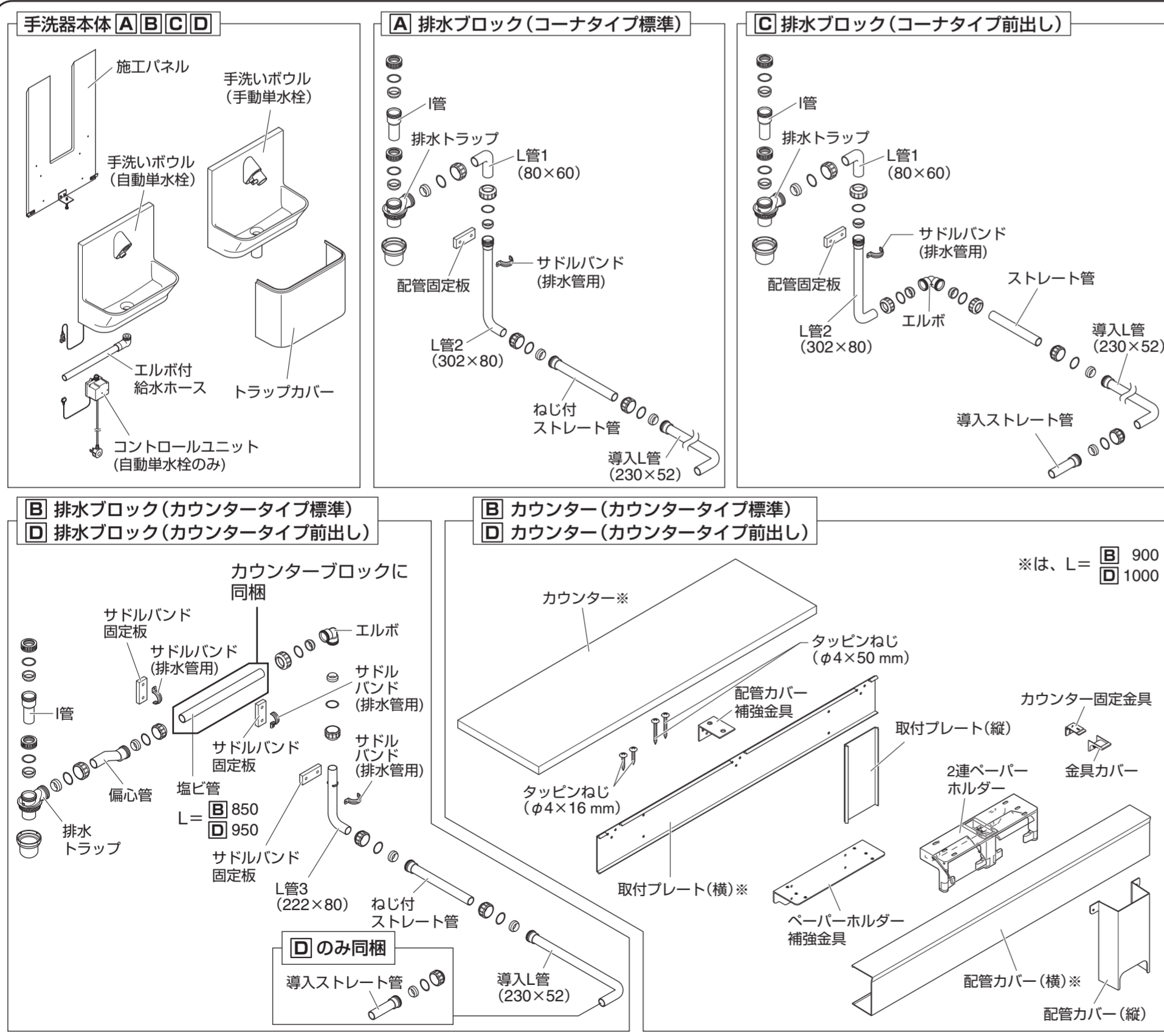


Table for component confirmation with columns for Handwashing Unit Type, Corner Type, and Counter Type. It lists standard and front-exit models.

Main table for component confirmation listing items like Handwashing Unit Body, Drainage Block, Pipes, and Fasteners, with columns for different unit types and their quantities.

Table for counter type models (CH110TFWL(R) and CH110TFZWL(R)) listing items like Drainage Block, Pipes, and Fasteners with their respective quantities.

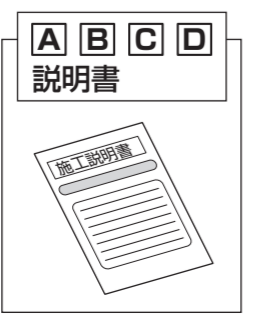
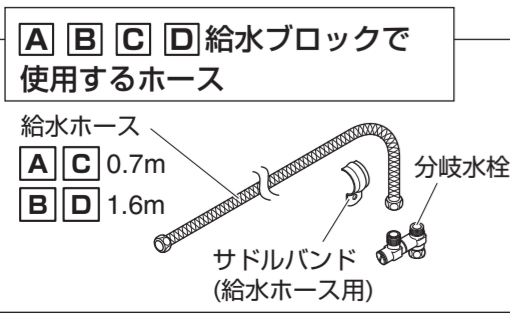


Table for hose and fastener specifications, including details for the 2-beverage holder and various types of fasteners used in the installation.

取り付け手順 イラストはLタイプで表示しています。

■リフォームの場合は、既設の便器を取り外す。

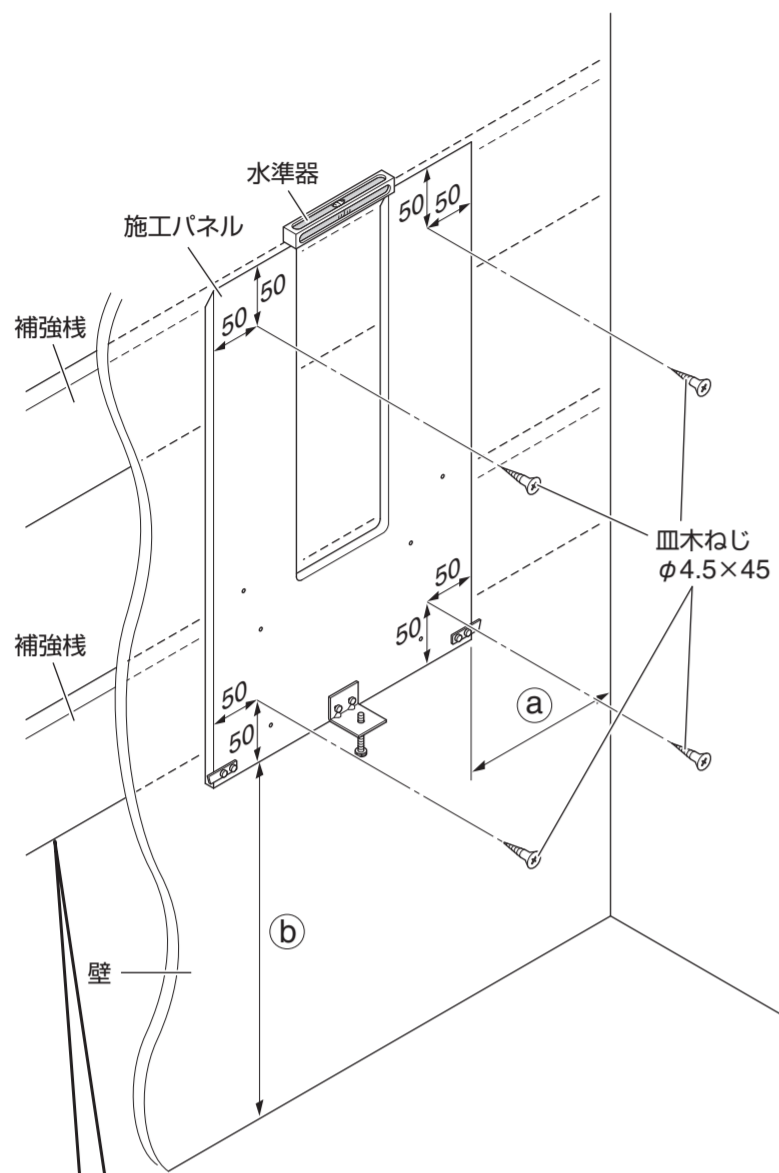
※完成イメージ図は、4ページをご覧ください。

1 施工パネルの取り付け (A B C D)

施工パネルを壁面に取付ける。
※施工パネルにねじの下穴はありません。
壁面の下地がある位置に、ねじて固定する。

ご注意
施工パネルは、水準器などを使用して、必ず水平に取り付けてください。

単位：mm



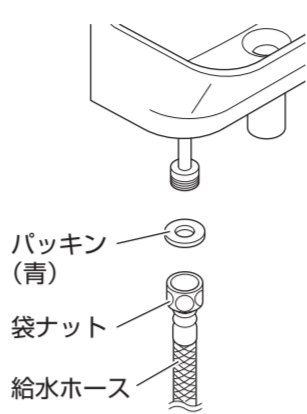
壁面の裏側に補強桟を入れるか、板厚12mm以上の合板で壁面補強する。

施工タイプ記号	A	B	C	D
①寸法 mm	12	910	110	1010
②寸法 mm	575	525	575	525

2 給水配管の取り付け (A B C D)

手動単水栓の場合

給水ホースを袋ナットで固定してください。



自動単水栓の場合

エルボ付給水ホースを取り付けてください。右図のように、向かって左側にコントロールユニットを取り付ける「Lタイプの場合」は、エルボ付給水ホースの白いホースを30mmカットして取り付けてください。カットしないとホースが折れ曲がってしまいます。

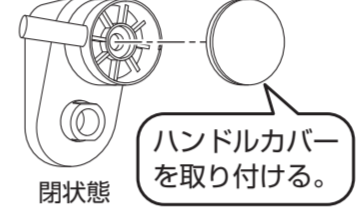


水栓ハンドルについて

出荷時はLタイプ用に設定しています。Rタイプ用に施工する場合は、下記に従ってハンドルレバーの向きを変更してください。

Lタイプの場合

出荷時の状態のまま変更の必要はありません。



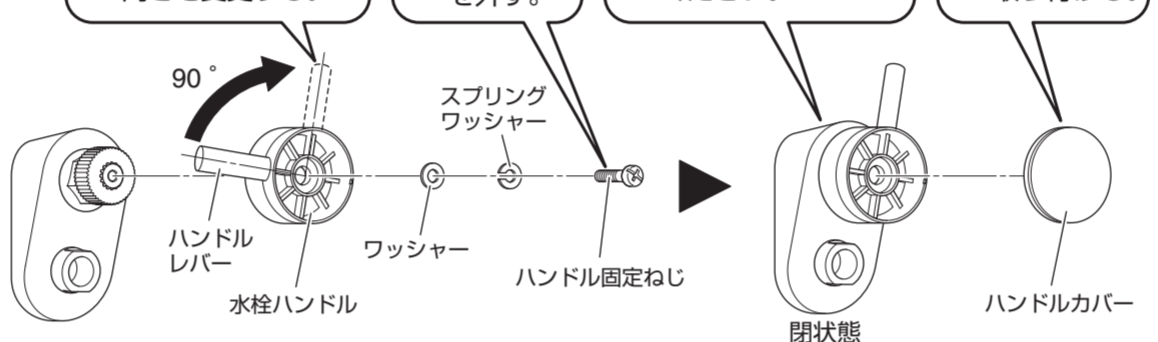
Rタイプの場合

② 水栓ハンドルを90°まわしてレバーの向きを変更する。

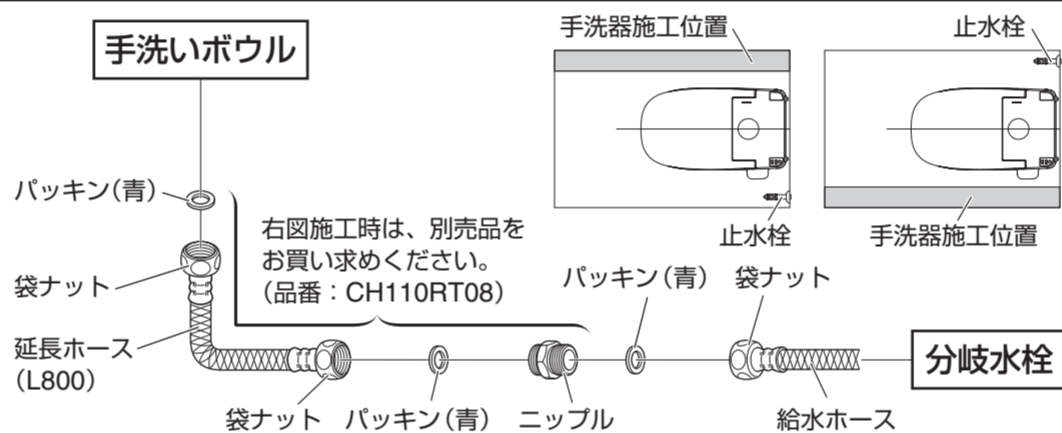
① ハンドル固定ねじを外す。

③ 取り外した各部品を元通り取り付けてください。

④ ハンドルカバーを取り付ける。



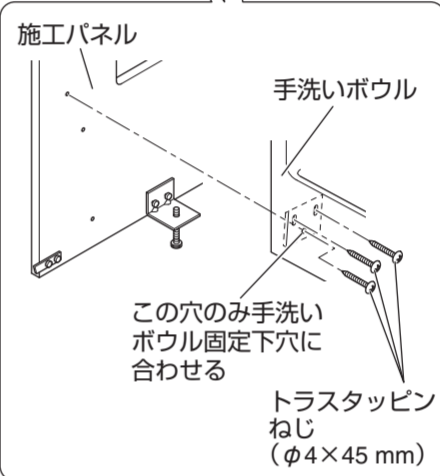
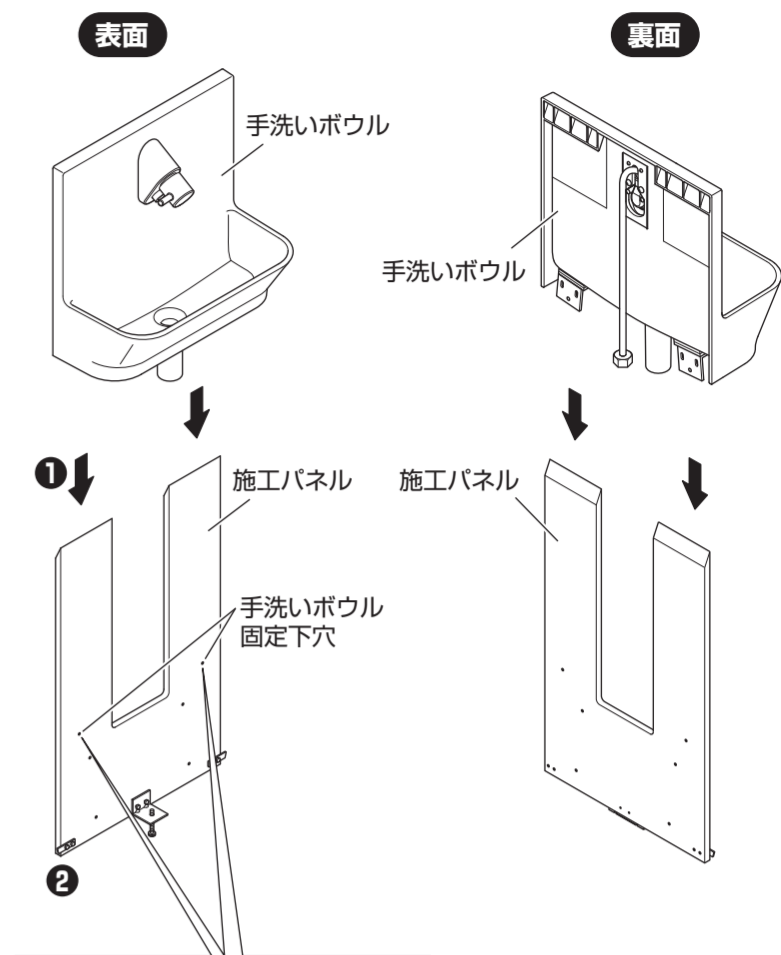
延長ホース(全タイプ共通)を使用する場合



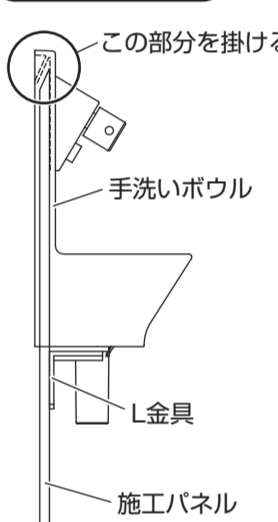
3 手洗いボウルの取り付け (A B C D)

① 手洗いボウル上部を施工パネル上部に掛ける。

② トラスタッピンねじ(φ4×45mm)で固定する。



側面から見た図

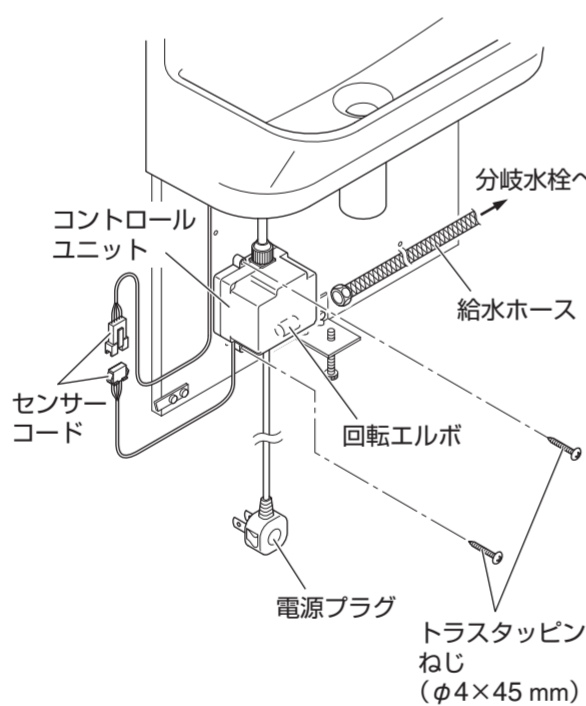


4 コントロールユニットの取り付け (A B C D 自動単水栓の場合)

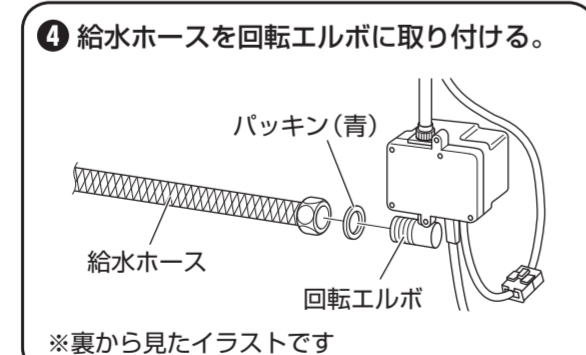
① ③ 手洗いボウルの取り付けに従って手洗いボウルを取り付けてください。

② コントロールユニットにエルボ付給水ホースを接続する。

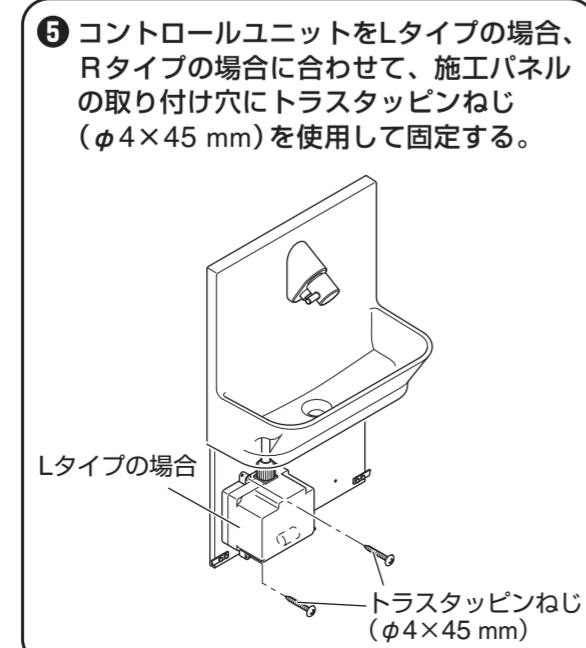
- ① コントロールユニットからホース固定ナットを外し、ホース固定ナットをエルボ付給水ホースに通す。
- ② 吐水ホースをコントロールユニットにきちんと差し込む。
- ③ ホース固定ナットをコントロールユニットねじ部に手でしっかりと締める。



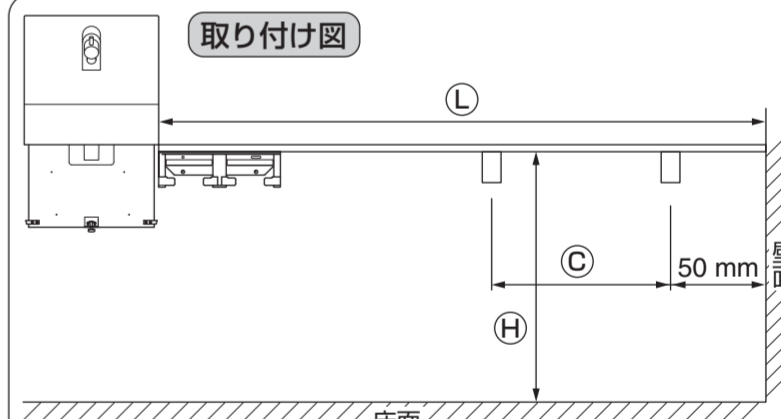
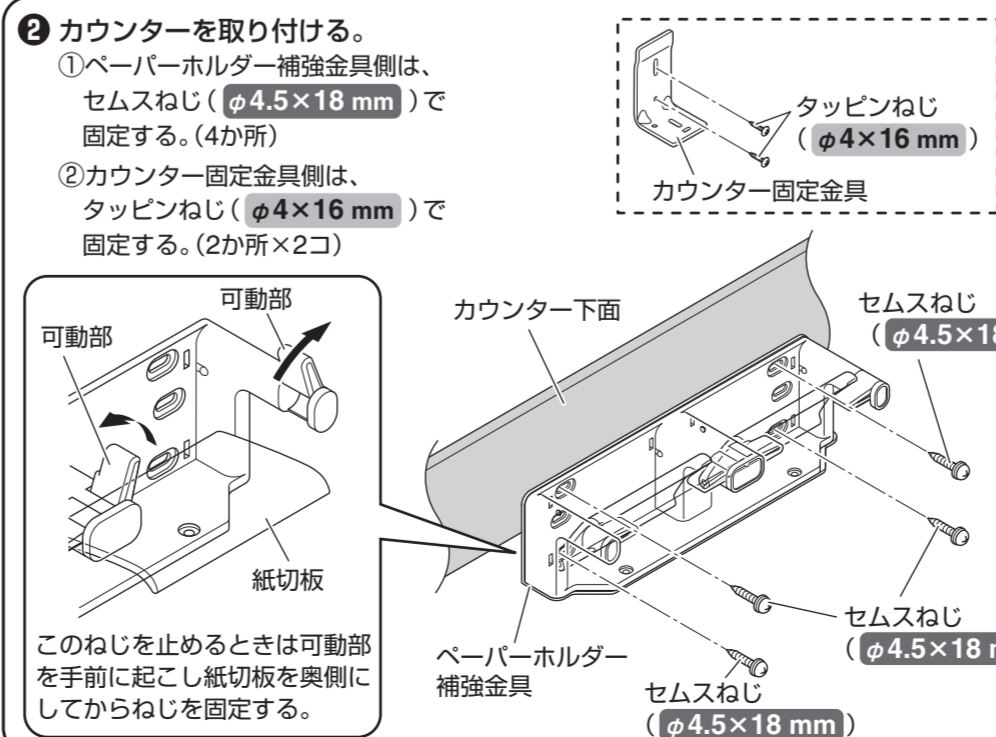
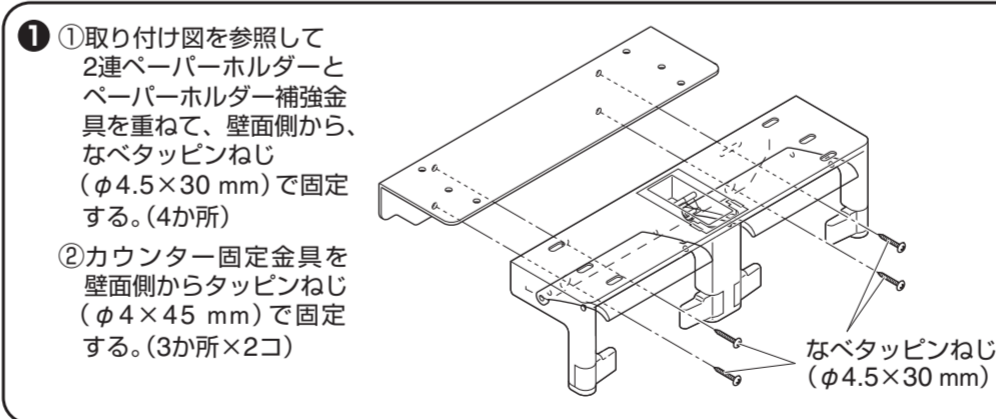
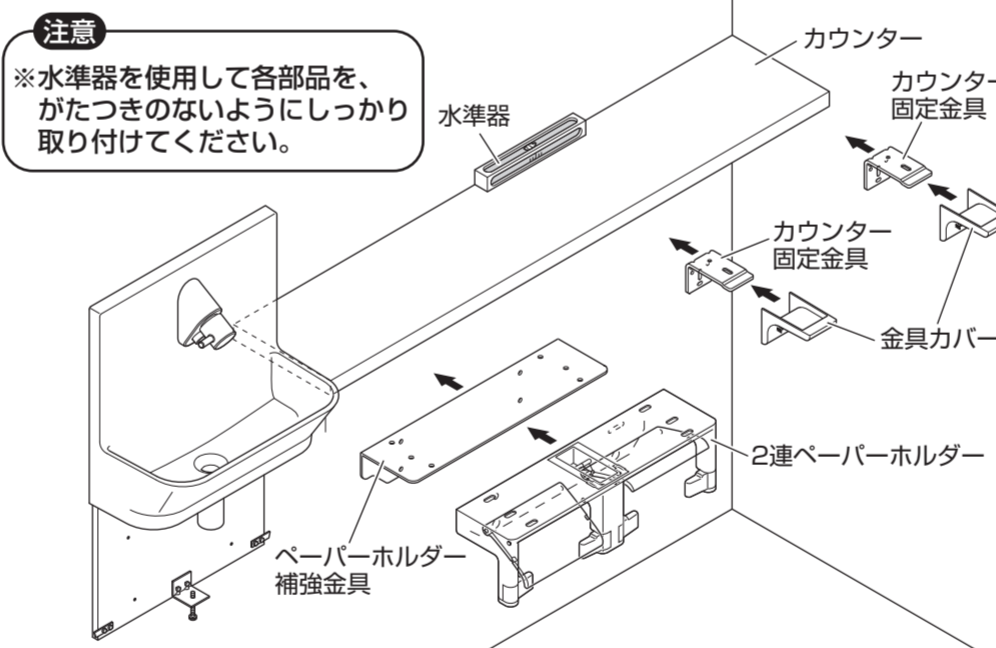
④ 給水ホースを回転エルボに取り付ける。



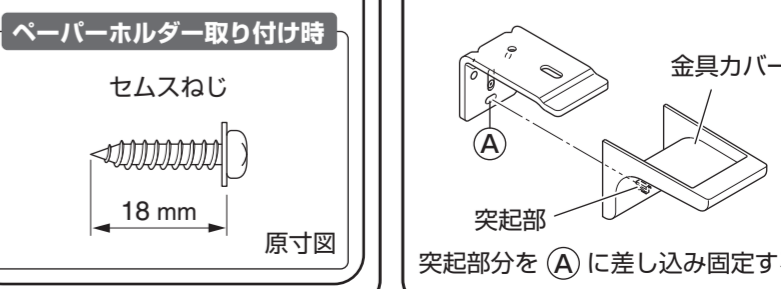
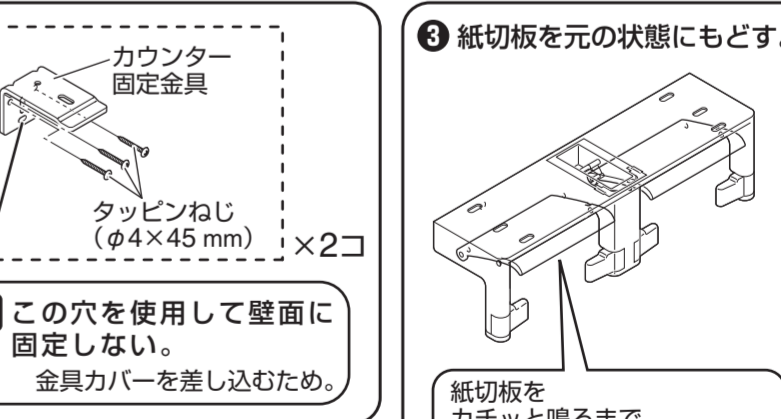
⑤ センサーコードを接続する。
・コントロールユニットのセンサーコードを接続する。



5 カウンターと2連ペーパーホルダーの取り付け (B D) (A Cの場合 ⑩ 給水ホースの固定へ)



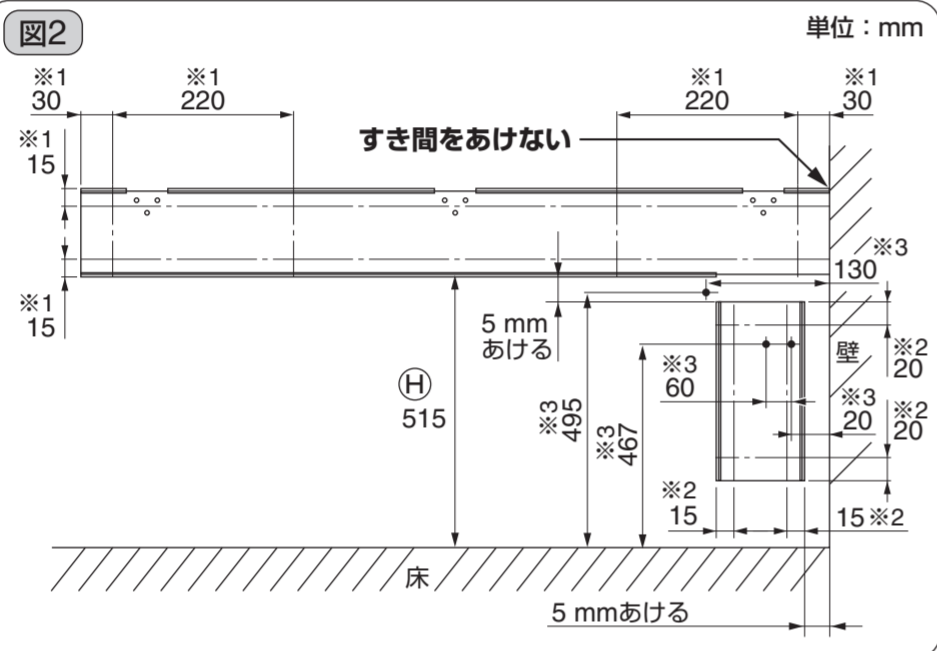
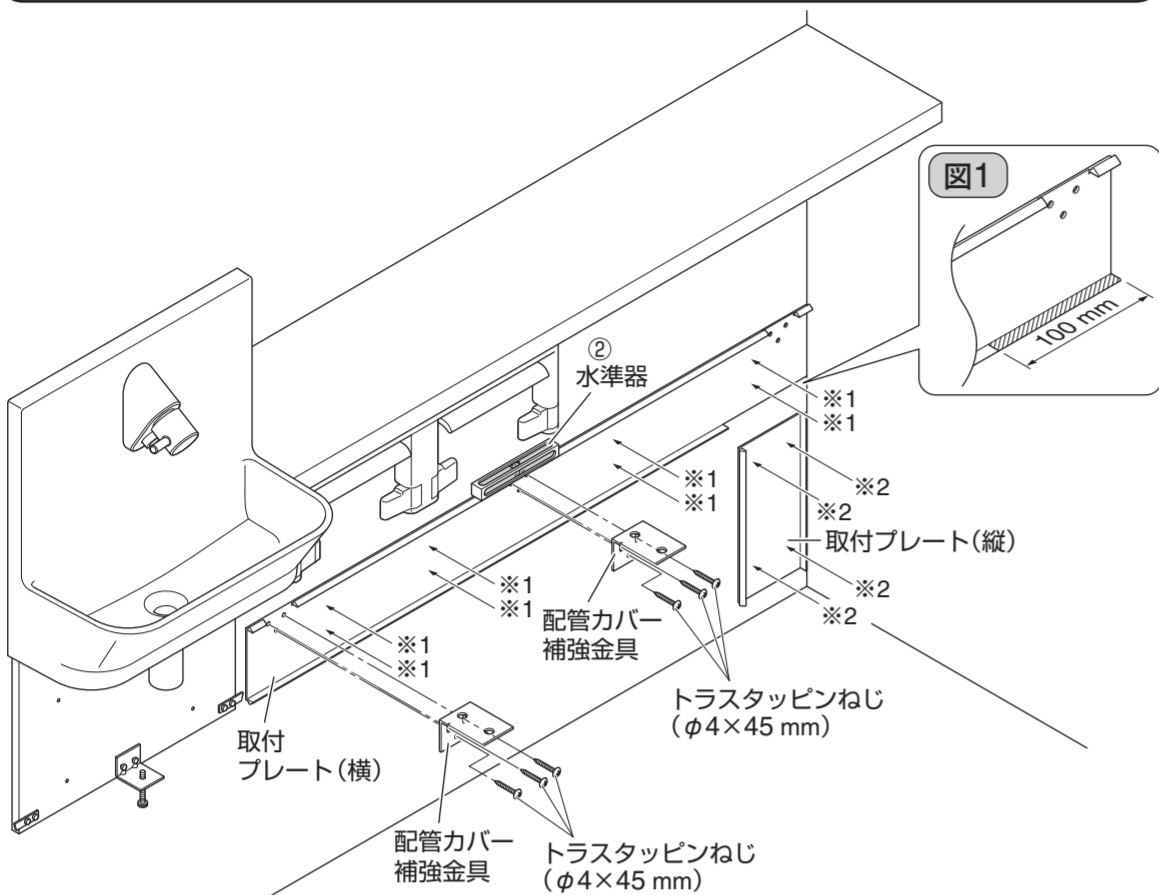
	B	D
カウンター長さ L 寸法 (mm)	900	1000
カウンター高さ H 寸法 (mm)	777	777
金具取り付け C ピッチ (mm)	258	308



6 取付プレートの固定(図回)

取付プレートの取り付け。

- ①図1を参照して、取付プレート(横)を「塩ビのこ」などを使用して切断する。(斜線部分)切断部のバリを取り除いてください。
- ②水準器で配管カバー取付プレートが水平になっていることを確認する。
- ③※1印の8か所をトラスタッピンねじ(φ4×45 mm)で壁面に固定する。(横) (取り付け高さ(H)は、床面から切り欠け部まで515 mmにする。)
- ④※2印の4か所をトラスタッピンねじ(φ4×45 mm)で壁面に固定する。(縦) その時に図2を参照して、取付プレート(縦)を取付プレート(横)、壁面からそれぞれ15 mmあける。
- ⑤配管カバー補強金具を、取付プレート(横)の下穴にトラスタッピンねじ(φ4×45 mm)3本で固定する。
- ⑥※3の3か所にφ3のキリで下穴をあける。(図2の●黒丸)



8 便器本体とねじ付ストレート管・ストレート管の取り付け(図回)

この手順は、アラウーノS設置の場合のみ実施してください。アラウーノ設置の場合の排水管接続については、カウンタータイプ、コーナータイプ用配管に同梱の施工説明書をご参照ください。

① 給水ホースを回転エルボに取り付ける。

図回の場合

※ねじ付ストレート管の長さは、図面を参考にして、 $500 - (\text{実際の施工時のA寸法}) = \text{カットする寸法(mm)}$ です。

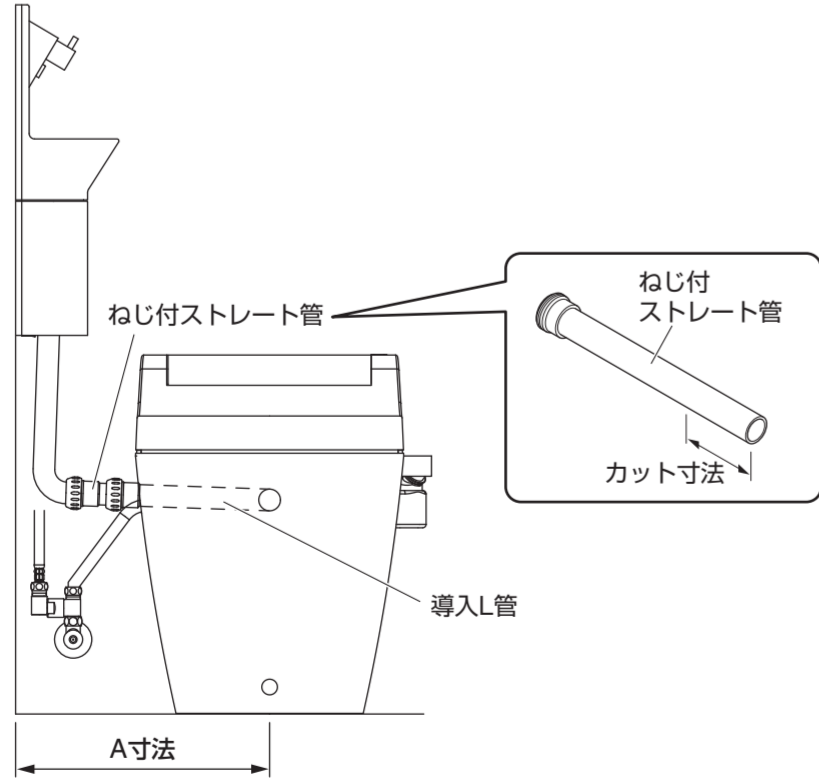
図回の場合

※ストレート管の長さは、図面を参考にして、 $255 - (\text{実際の施工時のA寸法}) = \text{カットする寸法(mm)}$ です。

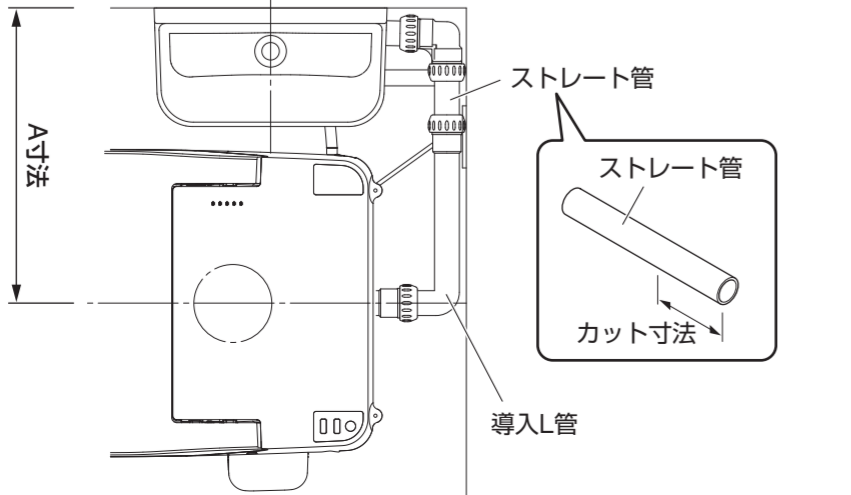
② ねじ付ストレート管・ストレート管を導入L管に取り付ける。

※施工後、接続部位を水漏れのないように、しっかり締めつけてください。

図回の場合



図回の場合



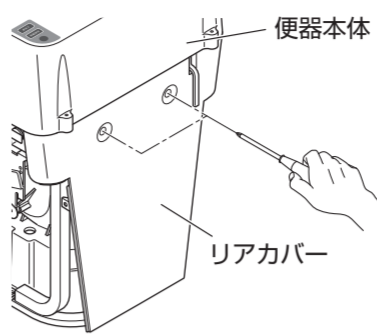
7 排水管と便器本体の接続(図回)

この手順は、アラウーノS設置の場合のみ実施してください。アラウーノ設置の場合、カウンタータイプ、コーナータイプ用配管の施工説明書の「排水管と便器本体の接続」を実施してください。

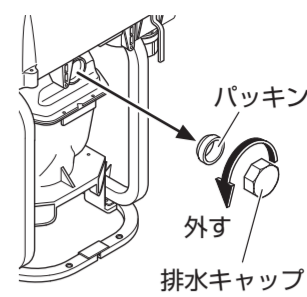
ご注意

便器本体を先に設置すると、手洗器側の排水管の接続ができません。必ず先に手洗器側の排水管を本体に接続してください。

① ねじを外し、リアカバーを外す。



② 排水キャップを外す。外した排水キャップとパッキンは不要。



③ リアカバーの加工と排水管の取り付け。

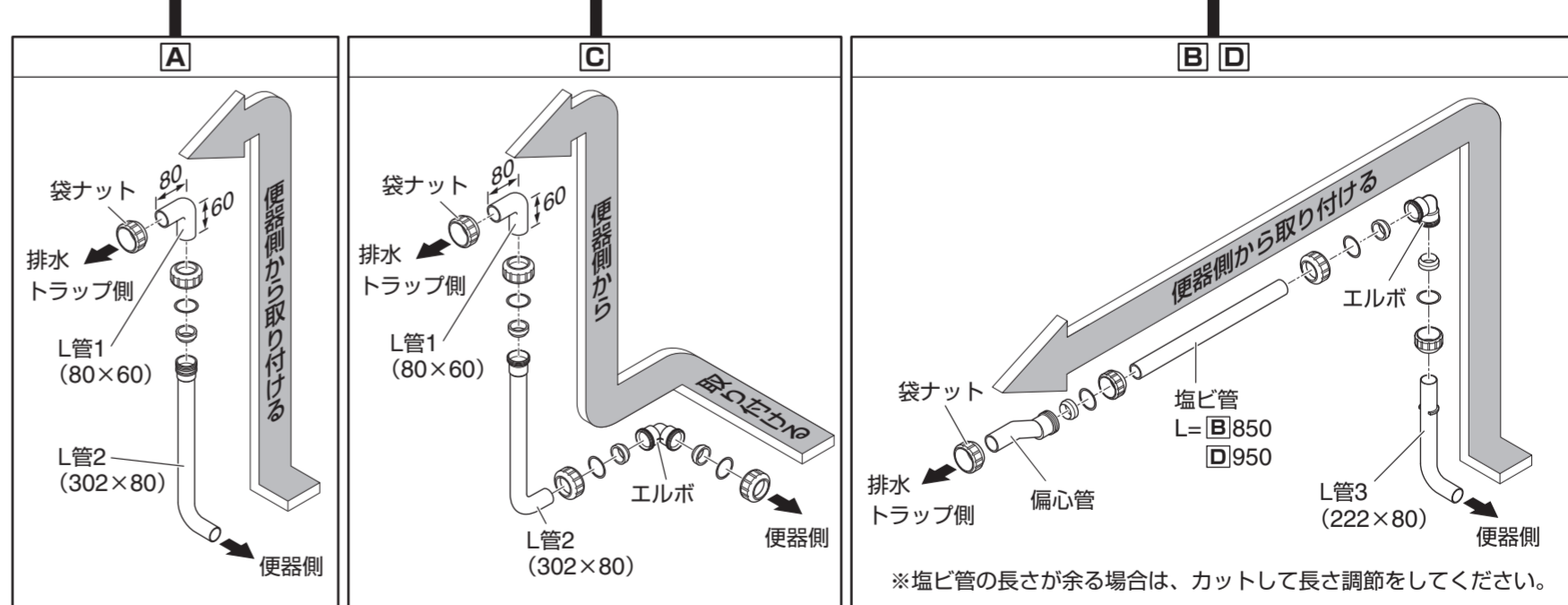
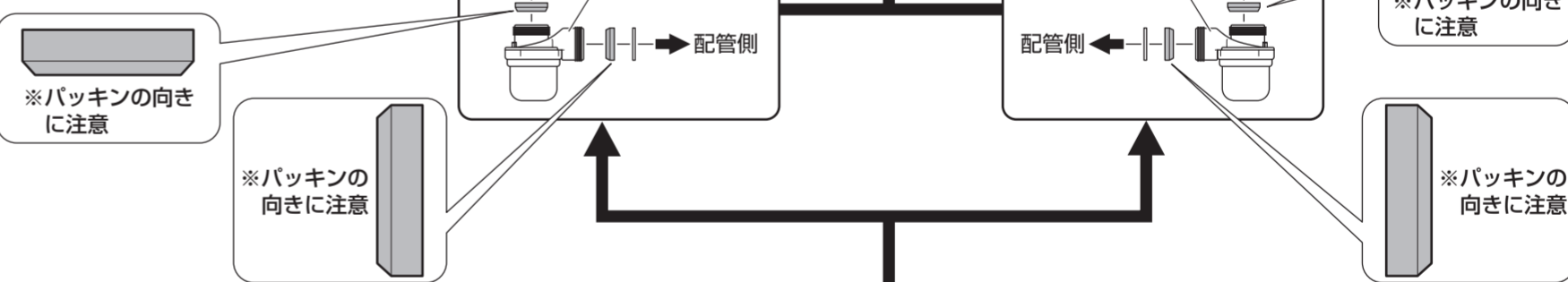
	図回の場合	図回の場合
① リアカバーの加工	後面から見て左側を配管が通る場合、「塩ビのこ」などを使用して、切断する。切断部のバリを取り除いてください。	後面から見て右側を配管が通る場合、「塩ビのこ」などを使用して、切断する。切断部のバリを取り除いてください。
② 手洗器側の排水管を取り付け	手洗排水導入口、スリップワッシャー、パッキン、袋ナット(水漏れのないように、しっかり締めつけてください)、導入L管(230×52)	手洗排水導入口、リアカバー、スリップワッシャー、パッキン、袋ナット(水漏れのないように、しっかり締めつけてください)、導入ストレート管
③ リアカバーの取り付け	①ツメひっかけ部、②リアカバー表面、ねじを締める	①ツメひっかけ部、②リアカバー表面、ねじを締める
④ 手洗器側の排水管を取り付け	リアカバー、パッキン、スリップワッシャー、袋ナット(水漏れのないように、しっかり締めつけてください)、導入L管(230×52)	リアカバー、導入ストレート管、パッキン、スリップワッシャー、袋ナット(水漏れのないように、しっかり締めつけてください)、導入L管(230×52)

※ 7「排水管と便器本体の接続」の施工終了後、便器部(アラウーノS)施工説明書の「2」止水栓への接続」まで便器の施工を行ってください。

9 排水配管の仮接続(図回)

図回、図回、図回、図回の設置方法に合わせて、矢印方向の手順で各排水管部品を各図に合わせて取り付けます。

各配管の接続は、完全に締めつけてください。便器本体との接続ができなくなります。



<p>〈アラウーノS設置の場合〉 床排水 200 mm、120 mm、305~445 mm 壁排水 120 mm(後ろ抜き)</p>	<p>〈アラウーノS設置の場合〉 床排水 446~550 mm 壁排水 120 mm(左右抜き)、100~120 mm(排水ジョイント接続)</p>
<p>〈アラウーノ設置の場合〉 床排水 200 mm、325~460 mm</p>	<p>〈アラウーノ設置の場合〉 床排水 460~560 mm 壁排水 100~120 mm、135~155 mm(後ろ抜き) ※壁排水は、コーナータイプ前出しとの併設不可</p>
<p>図回 コーナータイプ標準</p>	<p>図回 カウンタータイプ標準</p>
<p>図回 コーナータイプ前出し</p>	<p>図回 カウンタータイプ前出し</p>

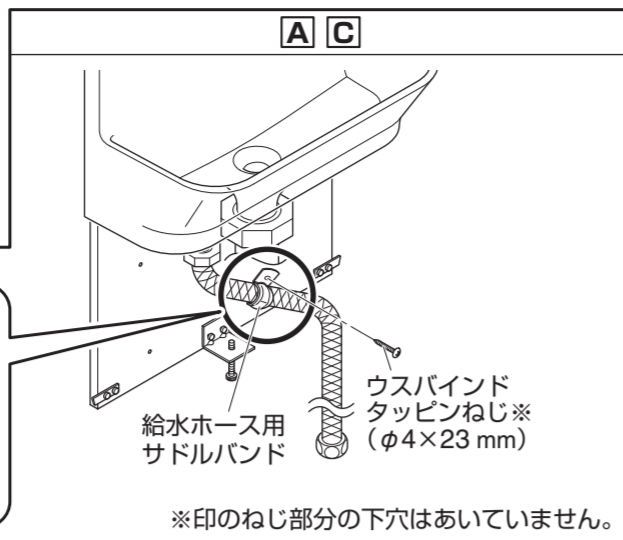
10 給水ホースの固定 (A B C D)

給水ホースがねじれたり折れたりしないように給水ホース用サドルバンドで固定する。
B、Dは3か所
A、Cは1か所(施工パネル)に取り付ける。

自動水栓の場合

給水ホース用サドルバンドで電源コードも固定してください。固定位置は、巻末に示すB給排水配管完成イメージをご参照ください。電源コード

給水ホース 給水ホース用サドルバンド



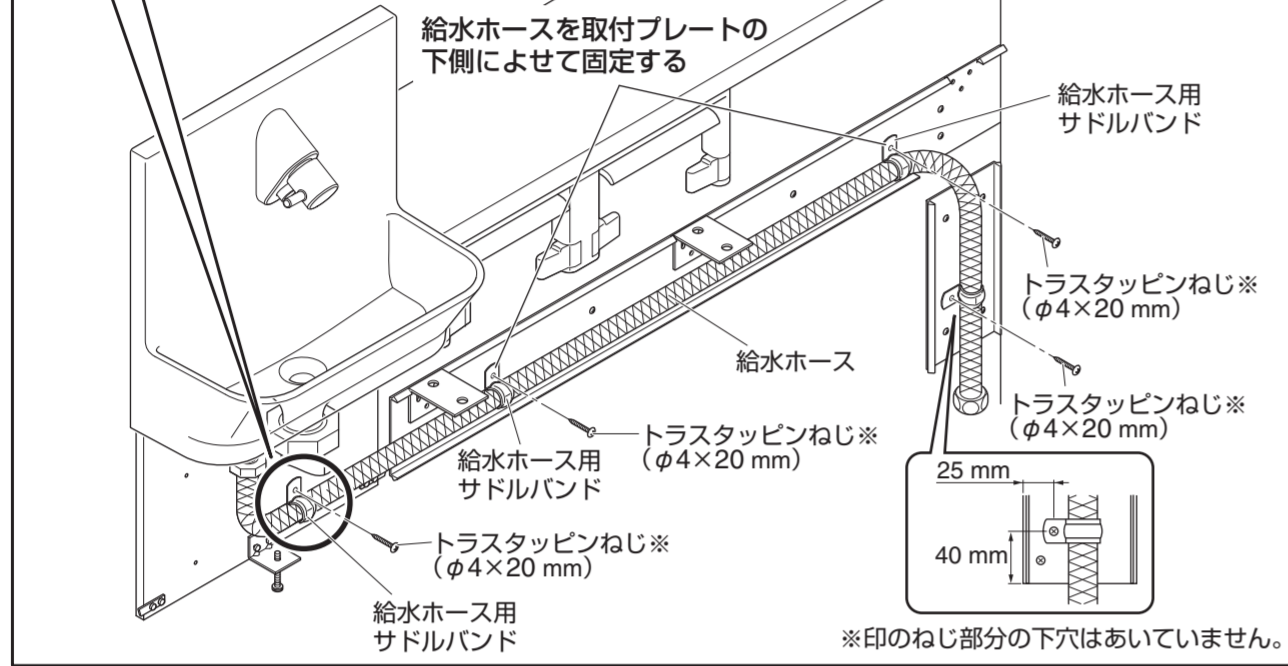
※印のねじ部分の下穴はあいていません。

B D

自動水栓の場合

給水ホース用サドルバンドで電源コードも固定してください。固定位置は、巻末に示すB給排水配管完成イメージをご参照ください。電源コード

給水ホース 給水ホース用サドルバンド



11 排水配管の固定 (A B C D)

「排水管の仮接続」部位を水漏れのないように、しっかり締めつけてください。

サドルバンド(排水管用)を各図に合わせて指定のねじで固定する。

A C

手順①
配管固定板を取り付ける
配管固定板の固定位置は巻末のB配管固定板の固定位置を参照

手順②
サドルバンド排水管用
L管2
ウスパインドタッピンねじ (φ4×23 mm)

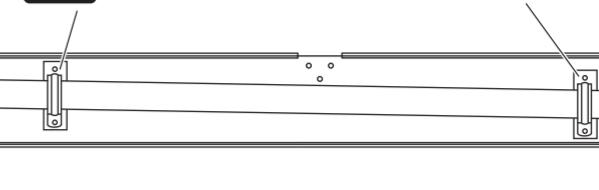
ウスパインドタッピンねじ (φ4×23 mm)
配管固定板

平面図
サドルバンド(排水管用)
配管固定板

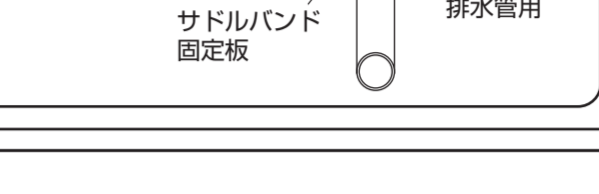
突起部
突起部と配管固定板の上端を合わせて取り付ける。

B D

塩ビ管をサドルバンドで任意の位置で固定する。
注意 排水方向と逆勾配にならないようにする。



この時は、L管3の突起部とサドルバンド固定板を、合わせて取り付ける。



サドルバンドの固定

トラスタッピンねじ (φ4×20 mm)
配管カバー取付プレート(横)
手順①
サドルバンド排水管用
塩ビ管
サドルバンド固定板
手順②
トラスタッピンねじ (φ4×20 mm)

12 試運転 (A B C D)

① 水道の元栓を開ける。

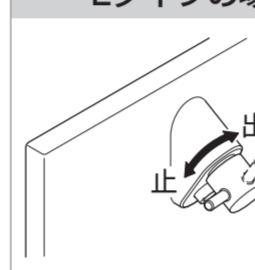
② 止水栓を開く。

③ 手洗器の通水を確認する。

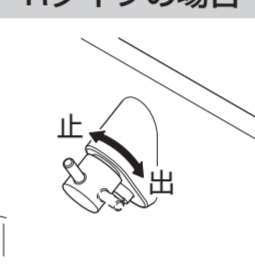
自動単水栓の場合

ハンドルを回すと、水が出ます。

Lタイプの場合

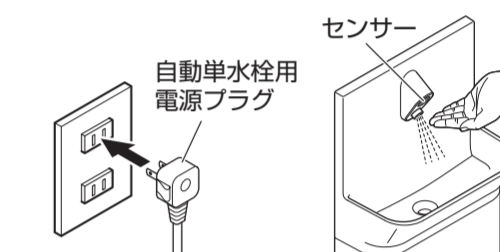


Rタイプの場合



自動単水栓の場合

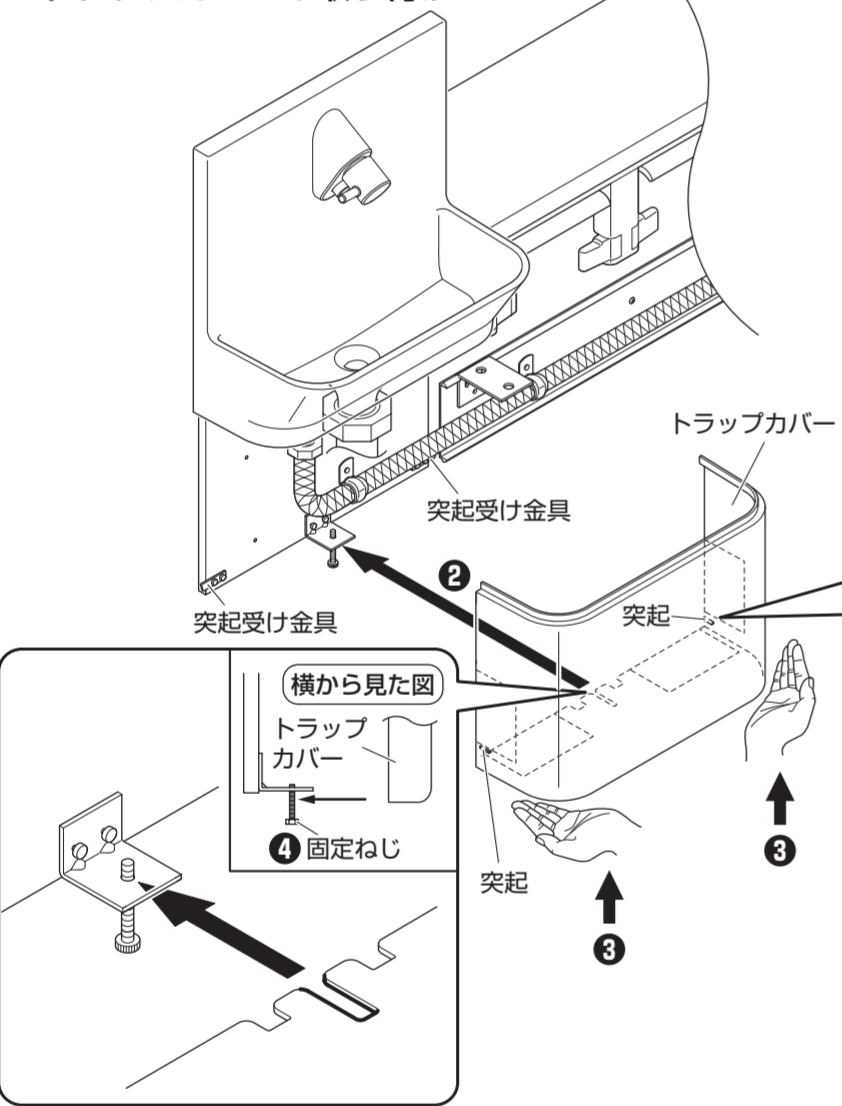
自動単水栓の電源プラグを、コンセントに差し込んでください。センサーに手をかざすと水が出ます。



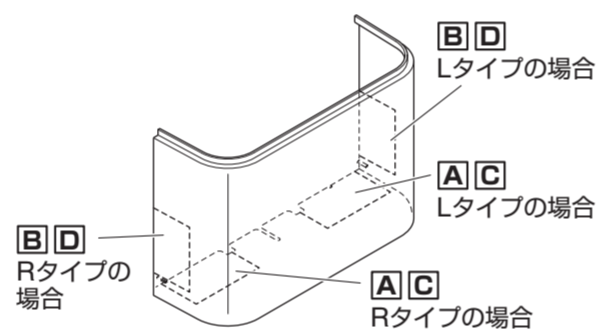
④ 給排水の接続部分からの水漏れを確認する。

13 カバーの取り付け (A B C D)

・トラップカバーの取り付け

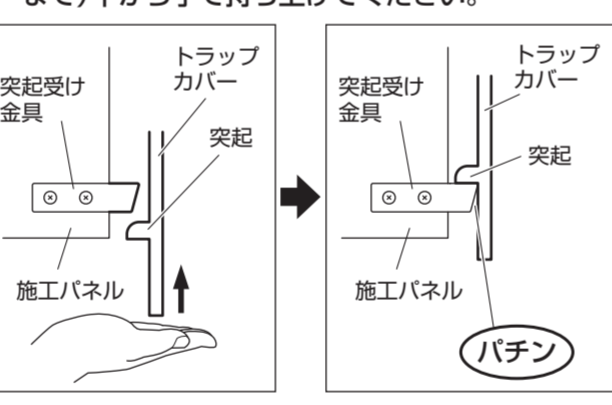


① 給排水管の配管位置に合わせてトラップカバーの切り欠きに沿って「塩ビのこ」などを使用して、切断してください。切断部のバリを取り除いてください。



② トラップカバーを図のように取り付けてください。

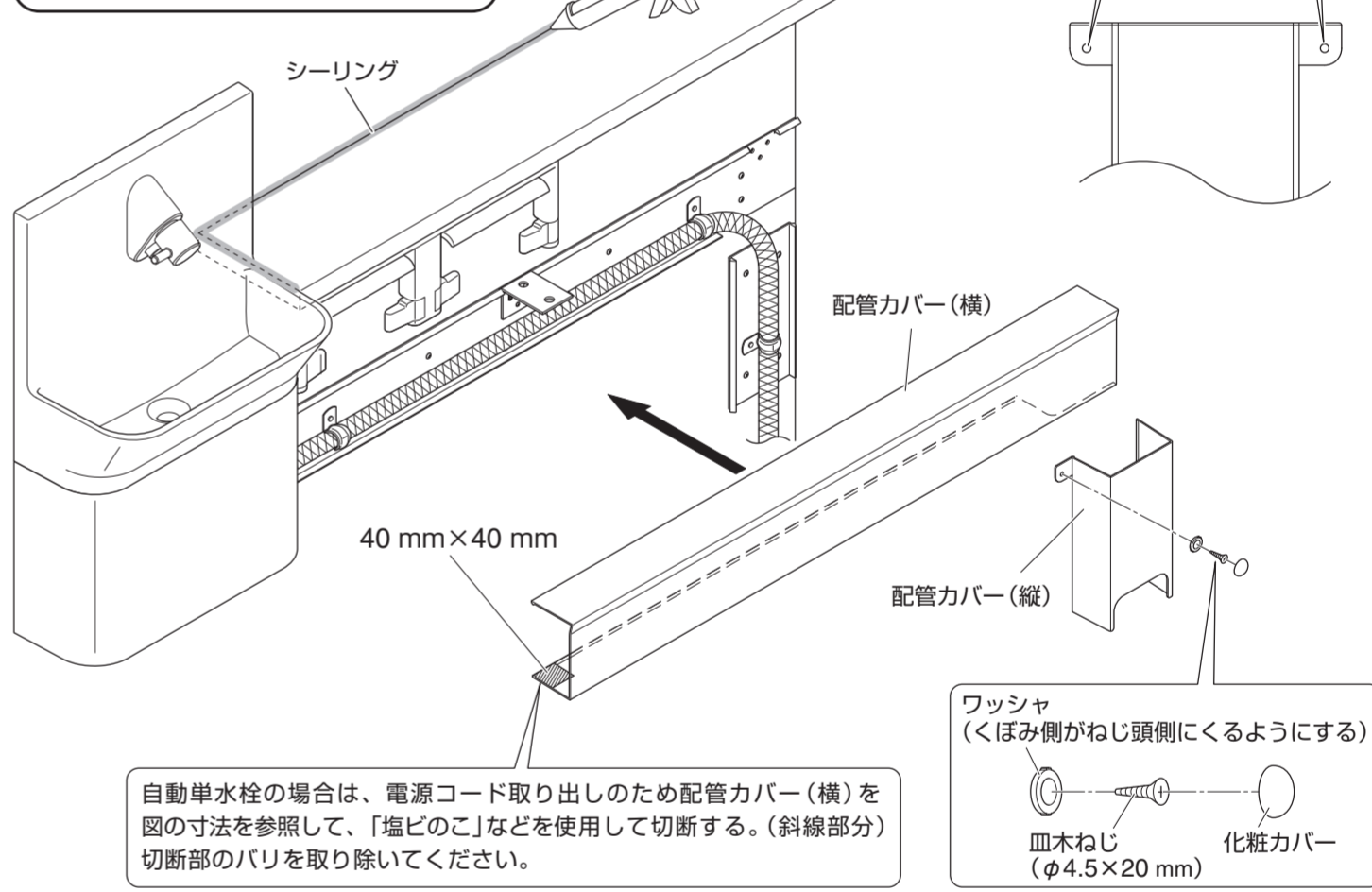
③ トラップカバーの下部左右を「パチン」と音がするまで(ウラ側の突起が、突起受け金具の上に来るまで)下から手で持ち上げてください。



④ 固定ねじで固定してください。

・配管カバー(横、縦)の取り付け (B Dのみ)

カウンターと壁のすき間、カウンターと手洗いボウルのすき間をシーリング処理する。



自動単水栓の場合は、電源コード取り出しのため配管カバー(横)を図の寸法を参照して、「塩ビのこ」などを使用して切断する。(斜線部分)切断部のバリを取り除いてください。

施工完了チェックリスト

商品を取り付けられた方へお願い！！

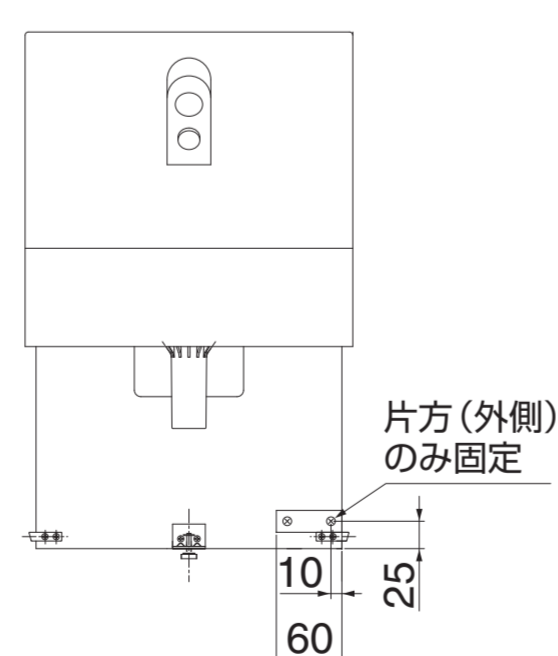
施工後、このチェックリストに従い施工確認をしていただき、結果を記入の上、お客様にお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	● 手洗いボウルや、カウンターにがたつきはありませんか？	
2	● 給排水配管の接続部から水漏れはありませんか？	

施工日	施工店名	担当者

お願い 施工説明書をお客様にお渡しください。

a 配管固定板の固定位置



※施工パネルにこのねじ部分の下穴はあいていません

本図は、Lタイプの場合の固定位置です。Rタイプは、ボウル中心を軸に左右対称です。

b 給排水配管完成イメージ

※本図は、Lタイプの給排水図です。Rタイプはボウル中心を軸に左右対称です。

